

新年のご挨拶

島根県土地改良事業団体連合会会長／大田市長 楫野弘和



新年、明けましておめでとうございます。会員の皆さまに謹んで初春のお喜びを申し上げます。

昨年4月より会長に就任いたしました。その間、長引く新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、様々な会議や懇親の場などが失われることも多く、対面でのコミュニケーションを図る機会が減少しており、会員間また会員と関係者との意思疎通を回復していく必要性を感じています。

県内では災害の発生は昨年度に比べると少なかったですが、中山間地域を中心に農村の過疎化、農業従事者の高齢化・担い手不足といった様々な課題が引き続き立ちはだかるとともに、ロシアのウクライナ侵攻を端に発したエネルギー価格、飼・肥料価格の高騰など、食料安全保障の必要性がクローズアップされた1年でした。

こうした中で、昨年夏には土地改良代表である進藤参議院議員が無事再選を果たされ地域農政の課題や切実な各地域の現場の声をしっかりと国に届けていただける体制が維持されたこと、また、農業農村整備の着実な推進に力強い応援を頂けることになったことは大変喜ばしい限りです。

一方、第5次男女共同参画基本計画が閣議決定され、女性理事がいない土地改良区をゼロに、土地改良区の理事に占める女性の割合を10%とする成果目標が設定されたことを受け、県内土地改良区でも女性理事登用が進みつつあります。今後もさらなる意識の醸成を図って、目標達成に向けた取り組みを進めていきたいと考えておりますのでご理解をお願いいたします。

また、令和5年度の当初予算原案は補正予算と合わせて6,134億円が計上され、本年度と同水準の予算が確保できる見通しとなりました。本県の重要課題でありますほ場整備を中心とした農業基盤整備の一層の推進と、激甚化する風水害対策や農業水利施設の老朽化対策など防災・減災対策を着実に進めていく必要があります。引き続き、必要な予算確保に向けて様々な活動を行ってまいりますので、皆様のご理解・ご協力をお願いします。

結びに、本年が皆様方にとって素晴らしい年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



◆ 新年のご挨拶（島根県土地改良事業団体連合会 会長 楫野弘和）	1
◆ 新年のご挨拶（参議院議員 進藤金日子）	2
◆ 新年のご挨拶（参議院議員 宮崎雅夫）	3
◆ 第44回全国土地改良大会 沖縄大会	4
◆ 男女共同参画の推進に向けた意見交換会を開催	5
◆ 令和4年度しまね水土里女性の会研修会を開催	5
◆ 総会関係（2月16日）全体日程	6
◆ 1月の主な予定	6

新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問／参議院議員 進藤 金日子



新年、明けましておめでとうございます。島根県の皆様には、旧年中、大変お世話になりました。お陰様で先般の参議院議員選挙で再選を果たすことができました。二期目においても、引き続き現場主義、地域主義に徹して政策実現に努めてまいりる覚悟です。本年も何卒宜しくお願い致します。

懸案の土地改良予算については、昨年12月に成立した令和4年度補正予算で1,677億円（TPP等対策：760億円、国土強靱化5か年加速化対策：817億円、食料安全保障対策：100億円）が措置され、また、令和5年度当初予算政府原案は昨年度より4億円増加の4,457億円で、補正予算と合わせて6,134億円となりました。これらには農業水利施設の電気料金高騰対策も盛り込まれ、本年度と同様に地域の要望に応えられる所要の予算が確保できたものと考えています。

さて、昨年を振り返ると、新型コロナウイルス感染症が続く中、2月のロシアのウクライナへの侵略により、エネルギー価格の上昇、穀物価格や飼料価格の上昇、肥料価格の高騰、円安の急激な進行による物価の上昇等があり、これらは国民生活に大きな影響を与えています。政府は、エネルギー価格や電気料金、肥料価格等の高騰対策を講じてきたところですが、これらを含め物価高は本年も続くと思われまます。引き続き、物価動向を注視しながら必要な対策を講じることが重要であり、私も各種対策の実現に貢献してまいりる覚悟です。

昨年7月の再選後、全国各地で講演等を行ってまいりました。そこで感じたのは、経済安全保障と食料安全保障に対する国民の意識の高まりです。昨年後半の円安の進行も踏まえ、各種生産拠点の国内回帰をはじめ国内での強靱なサプライチェーン再構築の緊急性を改めて認識しております。

また、昨年6月の参議院決算委員会で、私は政治信条である「食料安全保障」について岸田総理に対し質問しました。総理からは「食料の安定供給の確保は国家の国民に対する最も基本的な責務の一つ。新しい資本主義のビジョンの下、食料安全保障を強化するべく政府一体となって取り組んでいきたい」との答弁を頂きました。

私は、「食料供給力」（国内生産力、輸入力、備蓄）の中で弱体化している国内生産体制の強化が喫緊の課題で、まさに「食料自給力」の強化が不可欠であると訴えています。その最も基礎的なものが「農地・水等の農業資源」であり、自給力の強化を図るには、農地と水の持つ機能を高める土地改良を中長期的な展望を持って推進していくことが重要です。このため、今後も予算を安定的に確保するとともに、貴重な予算を効率的、効果的に執行し、目に見える成果を出していく必要があります。

本年も土地改良推進に対する皆様のご協力をお願い致しますとともに、皆様からのご指導とご鞭撻を心からお願い申し上げます、新年のご挨拶にさせていただきます。



新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問／参議院議員 宮崎 雅夫



輝かしい初春を迎え、鳥根県土地改良事業団体連合会の会員各位ならびに関係の皆様へ謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃より地域の重要な資源である水と土を守り、地域農業の発展や農山村の活性化に向け、農業農村整備事業の円滑な推進ならびに土地改良施設等の適切な管理や土地改良区の適正な運営にご尽力いただいておりますことに敬意を表しますとともに、旧年中は、私の活動に対し多大なるご支援とご指導を賜りましたことに衷心より感謝申し上げます。



さて、私も皆様方から多くのご支援をいただきながら、昨年8月まで農林水産大臣政務官を勤めさせていただき、その間、皆様方から多くのご要望等をお受けしましたが、それぞれの地域の課題解決等に向け、進藤金日子議員や農水省の職員の皆さん等と共に一所懸命に対応させていただきました。これらご要請の事項を含め、昨年12月に成立した平成4年度第2次補正予算では、農林水産関係で総額8,206億円、このうち、農業農村整備事業関係については、1,677億円（食料安全保障強化対策100億円、総合的なTPP等関連対策760億円、防災・減災、国土強靱化817億円）が措置され、この中には、皆様方から強いご要望があった土地改良施設にかかる電力料金の高騰対策として、増嵩分の7割を支援する新たな制度も含まれています。また、令和5年度当初予算の概算決定額として、前年を上回る4,457億円が計上されており、合計額は6,134億円となる見込みとなりました。これから行われる国会での議論において、しっかりと確保できるよう一所懸命に努めてまいります。

さらに、昨今の国際情勢や長引くコロナ禍により、農業農村にも多くの影響が及んでいますが、とりわけ、カロリーベースで6割程度を輸入に頼る我が国の食料事情にあって、その安定供給を図る食料安全保障の確立に向けた取り組みが求められております。国内農産物の生産を支える農地や水利施設等の整備・維持という重要な役割を土地改良が担っており、農業従事者数の減少傾向にも対応するスマート農業を実現する土地改良の促進や農業農村関係人口の拡大などを含め、しっかりと推進していくことが重要です。

私も、卯年の今年は年男を迎えますので、「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を理念に初心に立ち返り、これまでも増して現場主義に徹し、現場や地域の課題をしっかりと伺いして皆様のお声を国政に届け、必要な予算の確保と現場の実情に即した制度の充実に向け、誠心誠意努力してまいります決意ですので、引き続きご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、鳥根県土地改良事業団体連合会ならびに会員土地改良区、関係機関の益々のご発展と皆様方のご健勝を心より祈念申しあげ私の新年の挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

第44回 全国土地改良大会 沖縄大会

～ 水土里の拓くみるく世を鳴らしとぅゆまし守禮の邦から ～

第44回全国土地改良大会沖縄大会が11月22日、沖縄市の『沖縄アリーナ』で開催され、大会スローガン『水土里（みどり）の拓（ひら）くみるく世を鳴らしとぅゆまし守禮（しゅれい）の邦から』のもと全国の土地改良関係者約2,300名が参集し、本県からは楫野会長（大田市長）、田中副会長（安来市長）、岩本理事（吉賀町長）、塚原理事（飯南町長）ほか総勢38名が参加しました。主催は全国土地改良事業団体連合会（会長：二階俊博和歌山県土連会長）・沖縄県土地改良事業団体連合会。

式典では、主催者を代表して二階会長が「全国の農業を守り、農業関係者の皆さんを支えるため皆で頑張ることを誓い合う沖縄大会にしたい」と挨拶を述べられました。

続いて玉城デニー沖縄県知事から「本日の大会が持続的に発展する農業と多様な人が住み続けられる農村の実現を目指して全国に発信をし、実りある大会になることを切に願っている」と挨拶をされました。その後、桑江朝千夫沖縄市長から歓迎の挨拶があり、続いて勝俣孝明農林水産副大臣、西銘恒三郎衆議院議員（沖縄県選出国會議員代表）、進藤金日子参議院議員（オンライン）、宮崎雅夫参議院議員（オンライン）からは来賓の挨拶がありました。

引き続き、長年に亘る土地改良事業への功績を称える土地改良事業功績者表彰が行われ、本県からは楫屋干拓地土地改良区の久保田耕司理事長が全国土地改良事業団体連合会長表彰を受賞されました。

その後、安部伸治農林水産省農村振興局次長からの基調講演及び地元の農業生産法人及び土地改良区からの優良事例紹介が行われた後、沖縄県土連の島袋氏、知念氏兩名により、『持続的な農業・農村を可能とするため「みず」、「つち」、「さと」を守り、引き継いでいくこと』を大会宣言とし沖縄から全国へ向けて高らかに発信されました。

最後に次期開催県である福井県土連に大会旗の引き継ぎが行われたあと沖縄県土連の閉会挨拶で大会式典は終了しました。

前日の21日には読谷村の沖縄本島内最大の農業用ダムである「長浜ダム」で事業視察を行い、長浜川土地改良区の方から説明を受けました。

※福井大会は令和5年10月11日（水）

「サンドーム福井」で開催予定



主催者挨拶：二階会長



大会会場の様子



現地視察の様子

男女共同参画の推進に向けた意見交換会を開催

～秋田・岡山・鳥取・島根の女性の会が島根に集う～

令和4年12月6日（火）に松江市の「松江歴史館」において「男女共同参画の推進に向けた意見交換会」を開催しました。土地改良関係では、全国各地で「水土里ネット女性の会」が設立され、相互の情報交換や先進地視察が積極的に展開される中、島根県においても秋田県、岡山県、鳥取県、島根県の4県の女性の会が合同で開催したもので各県から女性の会役員等20名あまりが出席しました。意見交換会はしまね水土里女性の会永井会長の挨拶で始まり、全国水土里ネット女性の会会長でもある、あきた水土里ネット女性の会の根本会長の挨拶の後、中国四国農政局の柵木次長からは『土地改良区における女性参画への期待』として様々なデータの集計とともに説明がありました。

続いて掛屋干拓地土地改良区の渡部事務局長から土地改良区の女性理事登用の経緯、ひかわ水土里女性の会の三加茂会長からは取組の中心となる花の植栽などの活動報告がありました。

昼食をはさみ全国水土里ネットの室本専務理事からは土地改良の役割と重要性について説明があり、その後は、3班に分かれ女性活躍を阻む要因、女性会の果たす役割などについて班ごとに出た意見を発表し合うなど活発な意見交換が行われました。



意見交換会の様子



グループ討議の様子

令和4年度しまね水土里女性の会研修会を開催

令和4年12月7日（水）に本会大会議室において、「令和4年度しまね水土里女性の会研修会」が行われ、正会員19名、準会員5名の参加がありました。前日の「男女共同参画の推進に向けた意見交換会」に引き続き、秋田県から3名を招いての研修会となりました。しまね水土里女性の会の永井会長から、「今後の女性活躍のための意識向上や女性の会の活動のヒントが得られることを期待している」と挨拶があり、全国水土里ネット女性の会の会長でもある、あきた水土里ネット女性の会の根本会長からは秋田県の活動紹介、土地改良区へのアンケート結果や、令和7年度までの男女共同参画スケジュールなど、他県の貴重なお話に会員は熱心に耳を傾けていました。



研修会の様子

続いて、大田市三瓶町を拠点に農業・農村のコーディネートをされている、なかお商会の中尾祥子氏より「私が出会った島根の農業・農村とゆかいな女性たち」と題してご講演頂き、中尾氏の地域に根ざした仕事内容や、三瓶地域での取り組みの中で活躍する元気な島根の女性たちのお話の後、意見交換が行われオブザーバーとして参加頂いた水土里ネット秋田の佐藤専務理事から「男女共同参画の必要性を理解してもらい、楽しみながら進めていくことが重要である」と、男女共同参画の推進方法に対する意見がありました。

総会関係（2月16日）全体日程

令和5年2月16日（木）は下記の日程で執り行います。

時間	内容	関係出席者
11:30~12:00	島根県農地・水・環境保全協議会理事会	協議会役員
13:00~13:50	島根県農地・水・環境保全協議会総会	市町村等
14:00~14:45	令和4年度土地改良功労者表彰式	受賞者、県土連会員等
14:55~15:55	島根県土地改良事業団体連合会第65回通常総会	会員 (市町村、土地改良区)
16:00~16:30	島根県農業農村整備推進協議会総会	市町村

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

島根県土地改良事業団体連合会

会 長	楫野弘和	理 事	飯塚俊之	理 事	加藤滋夫
副会長	田中武夫	理 事	嘉戸隆	代表監事	山本浩章
専務理事	渡部明孝	理 事	久保田章市	監 事	秋田勝秀
常務理事	高橋裕司	理 事	岩本一巳		
理 事	塚原隆昭	理 事	池田高世偉		外職員一同

1月の主な予定

開催日	行 事 等	開催地
1月6日（金）	水土里ネット事務責任者会議	WEB
1月25日（水）	令和4年度県土連第3回役員会	県土連



水土里ネット島根（島根県土地改良事業団体連合会）

〒690-0876 島根県松江市黒田町432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141
 ホームページ <http://www.shimanedoren.or.jp/> メール smndoren@shimanedoren.or.jp